

令和 8 年度 徳島大学病院 医師労働時間短縮計画

計画期間

令和 6 年 4 月～令和 9 年 3 月末

対象医師

消化器・移植外科医師（連携 B：11 名）

脳神経外科医師（連携 B：2 名）

1. 労働時間と組織管理（共通記載事項）

（1）労働時間数

消化器・移植外科医師

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	797 時間	960 時間	960 時間
最長	884 時間	960 時間	960 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 名・0%	0 名・0%	0 名・0%
1,860 時間超の人数・割合	0 名・0%	0 名・0%	0 名・0%

脳神経外科医師

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	386 時間	960 時間	960 時間
最長	516 時間	960 時間	960 時間
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 名・0%	0 名・0%	0 名・0%
1,860 時間超の人数・割合	0 名・0%	0 名・0%	0 名・0%

（2）労務管理・健康管理

【労働時間管理方法】

令和 4 年度の取組実績	・ 労働時間確認簿による自己申告 ・ 出退勤管理に関して勤怠システム導入 ・ 医師の自己申告に基づく兼業先の労働時間を
--------------	---

	把握する仕組みを構築
当年度の取組目標	・ 勤怠システム、医師の自己申告に基づく兼業先の労働時間把握する仕組みの適切な運用に取り組む
計画期間終了年度の取組目標	・ 上記事項に取り組む

【宿日直許可の有無を踏まえた時間管理】

令和４年度の実績	・ 平成２１年度からNICU及びMFICUを除く診療科を宿日直からオンコール体制に切り換えて運用している
当年度の取組目標	・ オンコール体制の適切な運用に取り組む
計画期間終了年度の取組目標	・ 上記事項に取り組む

【医師の研鑽の労働時間該当性を明確化するための手続等】

令和４年度の実績	・ 労働と自己研鑽の判断基準を明確化して周知
当年度の取組目標	・ 上記事項に取り組む
計画期間終了年度の取組目標	・ 同上

【労使の話し合い、36協定の締結】

令和４年度の実績	・ 労働者の過半数代表者と協議・締結し、届出た36協定を院内HPに掲示する ・ 36協定を年に１回実態に即した見直しを検討
当年度の取組目標	・ 上記事項に取り組む以外に、月１回医師の働き方改革推進委員会において協議する
計画期間終了年度の取組目標	・ 上記事項に取り組む

【衛生委員会、産業医等の活用、面接指導の実施体制】

令和４年度の実績	・ 衛生委員会を月１回開催する ・ 定期健康診断を年１回、特殊健康診断を年２回実施する。未受診者に対して、年１回実施する ・ 衛生委員会で長時間労働の職員の対応状況の共有や対策が検討されている ・ 医師の健康診断の実施率を１００％とする（１００％でない場合には未受診の医師全員に
----------	--

	受診を促す) ・ 産業医に相談可能な体制の構築
当年度の取組目標	・ 上記事項に取り組む
計画期間終了年度の取組目標	・ 同上

【追加的健康確保措置の実施】

令和 5 年度の取組実績	・ 面接指導実施医師 33 名が、必要な研修の受講を修了し、面接指導体制を構築
当年度の取組目標	・ 連続勤務時間制限、勤務間インターバル確保及び代償休息確保を可能とする勤務体制とし、対象医師への面接指導を漏れなく実施する
計画期間終了年度の取組目標	・ 上記事項に取り組む

(3) 意識改革・啓発

【管理者マネジメント研修】

令和 4 年度の取組実績	・ 国等が実施する病院長向けの研修会に病院長参加
当年度の取組目標	・ 国等が実施する病院長向けの研修会に病院長が参加する ・ 診療科長等向けに管理者のマネジメント研修を年 1 回開催し受講を促す
計画期間終了年度の取組目標	・ 上記事項に取り組む

(4) 策定プロセス

各職種（医師、看護師、薬剤師、各技師等）から各代表 20 名が参画する医師の働き方改革推進委員会を適宜開催し、この計画の検討を行い策定した。案の段階で、対象医師やタスク・シフト先となる職員等を集めた説明会を開催し、意見交換を実施するとともに、策定後は当該計画を院内 HP に掲示している。

2. 労働時間短縮に向けた取組（項目ごとに任意の取組を記載）

（１）タスク・シフト／シェア

【看護師】

計画策定時点での取組実績	・ 特定行為研修を１４名が修了した ・ 特定行為（２５行為）の実施 ・ カテーテルの留置、抜去等の各種処置行為 ・ 診察前の情報収集
当年度の取組目標	・ 特定行為研修を受講する看護師を継続的に増加させ、人材の安定確保を目指す。 ・ 静脈注射認定レベル（Ⅰ～Ⅲ-②）認定取得に向けて、各レベルの取得者増加を目指す。
計画期間終了年度の取組目標	・ 上記事項に取り組む

【薬剤師】

計画策定時点での取組実績	・ 薬物療法全般に関する説明、医師への処方提案や処方支援等
当年度の取組目標	・ 周術期に使用する薬学的管理、病棟等における薬剤管理（ミキシング）
計画期間終了年度の取組目標	・ 上記事項に取り組む

【診療放射線技師】

計画策定時点での取組実績	・ 撮影部位の確認、検査オーダーの代行入力等 ・ 放射線管理区域内での患者誘導
当年度の取組目標	・ 血管造影・画像下治療（IVR）における補助行為、放射線検査等に関する説明、同意書の受領
計画期間終了年度の取組目標	・ 上記事項に取り組む

【臨床検査技師】

計画策定時点での取組実績	・ 手術検体等に対する病理診断における切り出し、外来における採血業務
当年度の取組目標	・ 心臓・血管カテーテル検査、治療における直接侵襲を伴わない検査装置の操作

計画期間終了年度の取組目標	・ 上記事項に取り組む
---------------	-------------

【臨床工学技士】

計画策定時点での取組実績	・ 各手術等における機器の操作、および術者に器材や医療材料を手渡す行為
当年度の取組目標	・ 全身麻酔装置の使用前点検の実施
計画期間終了年度の取組目標	・ 上記事項に取り組む

【理学療法士・作業療法士・言語聴覚士】

計画策定時点での取組実績	・ リハビリテーションに関する各種書類の記載・説明・書類交付
当年度の取組目標	・ 現状実施しており、取り組みを継続する。
計画期間終了年度の取組目標	・ 上記事項に取り組む

【医師事務作業補助者】

計画策定時点での取組実績	・ 医師事務作業補助者28人体制で医師の具体的指示の下、診療記録等の代行入力や診断書等の文書作成補助業務等を実施する。
当年度の取組目標	・ 医師事務作業補助者30人体制に増員し医師の具体的指示の下、診療記録等の代行入力や診断書等の文書作成補助業務等を実施する。
計画期間終了年度の取組目標	・ 上記事項に取り組む

(2) 医師の業務の見直し

計画策定時点での取組実績	・ 手術日前の当直の免除の推進 ・ 複数主治医制の導入 ・ 病状説明の勤務時間内実施と患者・家族への周知徹底 ・ クリニカルパスの作成による業務の標準化
当年度の取組目標	・ 外来の機能分化（紹介・逆紹介の活性化）

計画期間終了年度の取組目標	・ 上記事項に取り組む
---------------	-------------

(3) その他の勤務環境改善

計画策定時点での取組実績	・ Web会議システム、院内グループウェアの活用 ・ 兼業先の労働時間も踏まえた勤退管理システムの導入 ・ 医師が短時間勤務等を希望した場合に受け入れ、活用できる環境がある ・ 子育て世代の医師が働きやすい環境整備（短時間勤務、超過勤務免除） ・ 院内保育所の整備・運営 ・ 患者相談窓口の設置 ・ 患者満足度調査の実施
当年度の取組目標	・ ICT技術の導入 ・ 患者待ち時間を緩和するシステムの導入 ・ 職員満足度調査の実施
計画期間終了年度の取組目標	・ 上記事項に取り組む

(4) 副業・兼業を行う医師の労働時間の管理

計画策定時点での取組実績	・ 兼業先の医療機関において、宿日直許可の取得を促す ・ 兼業先への労働時間短縮の協力要請を行い、勤務シフトの調整を行う ・ 兼業先の労働時間を含めた勤務計画の作成
当年度の取組目標	・ 兼業先での労働時間の把握を迅速に行う
計画期間終了年度の取組目標	・ 上記事項に取り組む

※本項目は副業・兼業を行う医師がない場合には記載不要。